

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

令和2年度 総会資料



令和2年5月21日

書面決議

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

目 次

議 事

第1号	令和元年度事業報告について・・・・・・・・・・	1
第2号	令和元年度収支決算報告について・・・・・・・・	16
第3号	令和2年度事業計画（案）について・・・・・・・・	19
第4号	令和2年度収支予算（案）について・・・・・・・・	27
第5号	海ネットサポーターの承認（案）について・・・・	28
第6号	令和3年度総会開催地等（案）について・・・・	32

付 属 資 料

- ・瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定
- ・会員一覧
- ・実行委員会所属一覧
- ・幹事会/事務局一覧
- ・協議会要綱
- ・協議会会計細則
- ・海ネットサポーター規約

議事 1. 令和元年度事業報告

(1) 活動の概要

令和元年5月31日に山口県宇部市にて「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会令和元年度総会」を開催し、本総会で決議された協議会活動方針と事業計画に基づき、環境事業委員会、魅力検討委員会、情報発信委員会、防災委員会の4つの委員会からなる実行委員会活動や瀬戸内海活性化活動への支援、瀬戸内海クルーズ推進活動への支援、後援活動等を実施した。

実行委員会では、環境事業委員会による「リフレッシュ瀬戸内」は27年目を迎え、令和元年度は、瀬戸内海沿岸各地の260箇所での開催となり、37,692人のボランティアの方々が参加し、約219トンのゴミを回収することができ、また「海健康診断調査」を実施した。魅力検討委員会では、「海ネットサポーター提案事業」による活動支援の実施、「海ネットイベントプランコンテスト」の令和元年度受賞イベントへの支援の実施と翌年度(令和2年度)に支援対象となる受賞イベントを選出した。情報発信委員会では、海ネットホームページ「海の路」の情報の更新、及び各会員に対してイベント情報の発信依頼を行った。防災委員会では、「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定(海ネット協定)」の実効性の確保を目的に、協定締結共助会員76会員のうち、66会員の参加のもと、情報伝達訓練を実施した。

■第13回瀬戸内海首長サミット

令和元年度総会の後、「第13回瀬戸内海首長サミット」を開催し、「瀬戸内・海の路の災害時相互応援の連携強化について」と題して、平成30年7月豪雨をはじめ、大阪北部地震、台風21号等、災害が多い年であったことを踏まえ、瀬戸内・海の路の災害時相互応援に関する協定の実効性について、どのような取組を進めていけばよいか活発な意見交換が行われた。

■瀬戸内海クルーズ推進会議

平成30年度総会で承認された「瀬戸内海クルーズ推進会議」では、全体会議(第2回(令和元年5月)、第3回(令和元年11月))を実施、クルーズ誘致に対する各港の課題を抽出した。また、9月には会員と連携し東京にて船社訪問(誘致活動第1弾)を実施し、瀬戸内海PRを行った。令和2年1月には誘致活動第2弾として、誘致活動第1弾において瀬戸内海に関心いただいた船社を広島に招聘し、現地体験を含む戦略的な瀬戸内PRを実施した。

■瀬戸内の海の路を通じた防災ネットワークの強化

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定(海ネット協定)」については、令和元年10月25日付けで、大分県津久見市、令和2年3月13日付けで大分県佐伯市が新たに加入し、締結会員は、国及び府県機関を除く107会員中77会員(57市19町1村)となった。

■海ネットサポーター登録

行政と海ネットサポーターが連携し、瀬戸内海の魅力を発信すること等を通じて、

瀬戸内の海の路を通じた地域振興を図ることを目的に、平成 23 年度から取り組みを開始した「海ネットサポーター」について、令和 2 年 5 月総会で 37 会員からの推薦により 92 団体が登録された。

(2) 実行委員会活動

1) 環境事業委員会

■リフレッシュ瀬戸内

期 間：令和元年 6 月 1 日～8 月 31 日

実施箇所数：260 箇所

参加人数：37,692 人

回収ゴミ量：219 トン

全体拠点地：広島県坂町

全体拠点地の広島県坂町では、海の日である 7 月 15 日に約 700 人のボランティアが参加、約 5.5 トンものゴミを回収した。参加者からは、「みんなで清掃することが醍醐味。町民みんなで行うことが大切だと思います」、「この海岸を気持ちよく利用してもらえるよう、地域住民として気持ちを込めて清掃しました」、「清掃することで、住民の気持ちが 1 つになりました」といった声をいただいた。

平成 5 年から始まった「リフレッシュ瀬戸内」は、令和元年度で 27 回目を迎え、延べ約 204 万人のボランティアの方が参加し、約 19,100 トンものゴミを回収する等、瀬戸内地域の環境改善に寄与している。

■海の健康診断調査

「リフレッシュ瀬戸内」と連携して、平成 14 年度より取り組んでいる「海の健康診断調査(ゴミの組成調査)」は、瀬戸内海沿岸の 11 箇所において調査を実施した。取りまとめた結果については、担当者会を通じ、情報の共有化を図った。

「海の健康診断」は令和元年度で 18 回目を迎え、継続的に調査することによりゴミの地域特性が明らかになってきており、瀬戸内海に住む人々のゴミに対する意識向上に役立てていきたいと考えている。

2) 魅力検討委員会

■「海ネットサポーター提案事業」の実施

官民連携による瀬戸内の新たな賑わいを創出するため平成 23 年度に制度化された「海ネットサポーター」は、設立当初の 55 団体から 92 団体(令和 2 年総会時点予定)にまで拡大している。

「海ネットサポーター提案事業」は、行政である会員と民間の海ネットサポーターが連携した瀬戸内のブランド化に向けた地域振興への取り組みに対して支援を行うものであり、令和元年度は 2 件の事業を実施した。

○小松島みなとフェスティバル

実施会員及び海ネットサポーター名：

小松島市、NPO 法人 港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま

実施日：令和元年 10 月 26 日

○よりしま海と魚の祭典

実施会員及び海ネットサポーター名：

浅口市、よりしま海と魚の祭典実行委員会

実施日：令和元年12月1日

■「海ネットイベントプランコンテスト」の令和元年度受賞イベントへの支援及び令和2年度受賞イベントの選出を実施

瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域文化の保全・継承や、瀬戸内ブランドの価値の向上など、オリジナリティ溢れる地域活性化イベント等への支援を拡充するため、「海ネットイベントプランコンテスト」を実施している。

「海ネットイベントプランコンテスト」は、事前に企画した瀬戸内の魅力を向上させるイベントプランを会員から募集し、海ネット会員による審査投票により支援対象イベントを決定、賞に合わせた支援をするものであり、継続的に実施しているイベントの発展、目的意識の明確化、会員間の情報交換の促進などの効果も期待するものである。

【最優秀賞】「ひがた美人まつり～ひがた美人で ひととひとの 貝合わせ～」

会 員 中津市（大分県）

開催日 令和元年7月14日～令和2年3月15日

内 容 本イベントは、「ひがた美人」という貝をきっかけにひととひとが「貝合わせ」のように中津の海辺で出会い、つながってもらうことによる地域活性化を目的としている。イベントでは親子体験やカキコン等を実施しており、夏と冬に実施した「親子 de ひがた美人体験」では延べ26組64人の方に参加して頂いた。中津の海やカキの養殖方法について学び、漁場の見学、ひがた歩きなどを行った。漁場では実際に養殖カゴからカキを取り出して観察し、養殖ロープについてのフジツボ外しを体験した。参加者からは「楽しかった」、「また参加したい」との声があった。コロナウィルスの影響により企画内容に変更が生じたものの、予定していた海辺での交流及び地域活性化など、当初目的を十分に達成できた。

【優秀賞】「SETOUCHI PORTO MERCATO 「せとぼる」」

会 員 竹原市（広島県）

開催日 令和元年11月17日

内 容 港でつながる竹原・大崎上島の特産品を集め、「海の恵み」を感じるマルシェを開催した。「食」・「癒し」・「学び」・「遊び」4つをテーマにした瀬戸内の魅力を市内外に発信し地域活性化に寄与することを目的とした。

「食」・・・竹原・大崎上島 広域連携による瀬戸内海産物（牡蠣・車海老）をはじめ、瀬戸内の風土を感じる特産品を販売した。

「癒し」・・・海から感じる癒しを演出し、海岸沿いの遊歩道に簡易的なリサイクル廃材を使用したテーブルを作成し、海を観ながら食事ができるスペースを作った。

「遊び」・・・たけはらパドルスポーツ協会と連携して、シーカヤック・SUPなどインストラクターの指導の元、マリンスポーツを行った。竹原・大崎上島を結ぶ定期船 山陽商船(株)と連携して「のっとこクルーズ」に乗船できる企画や瀬戸内クルーズと連携して、30分程度のクルージングを行った。

貸し出し自転車を用意して竹原と大崎上島「瀬戸内海サイクリング」の企画で地域連携を深め、相互の観光客増大に向けての実証実験を試みた。これらの取り組みにより多くの方に竹原の魅力を発信できた。

【奨励賞】「風早サンドアートフェスタ 2019」

会 員 松山市（愛媛県）

開催日 令和元年7月14日

内 容 松山市では、風早（北条）地域（旧北条市）の活性化を目的として、平成25年3月に「風早レトロタウン構想」を策定、その推進母体として北条地域の住民や団体が「風早活性化協議会」を結成し、主体となって活性化に取り組んでいる。

昨年は、「北条長浜海岸」で開催したが、今回は、対面に位置する「北条鹿島」に場所を移し、「北条鹿島」で毎年開催されている「海びらきフェスタ」と同時開催し、より誘客を図った。瀬戸内海国立公園に指定されている北条鹿島は、一年を通じて手軽に釣りができ、炊事等や無料のシャワー室、水洗トイレも完備されていることからキャンプや海水浴も楽しめる島となっている。この、北条鹿島海水浴場の砂浜の砂を活用して、押し固めた土台を削り、アートを作成し競い合う「サンドアート（砂像づくり）フェスティバル」を開催し、来場者の滞在時間を延ばすことで、海岸から見える美しい景色や海岸自体の魅力を広くPRできた。

また、令和2年度のイベントプランについても、全会員による審査投票の結果、受賞企画が決定した。

- ・最優秀賞 よりしま海と魚の祭典（岡山県浅口市）
- ・優秀賞 広島湾ナイトクルージング（広島県広島市）
- ・奨励賞 風早の郷ふわり納涼花火祭り（愛媛県松山市）

3) 情報発信委員会

Webサイト「海の路」を通じて瀬戸内の魅力を広め、閲覧者の更なる増加を目指して、全会員へ積極的な情報発信を促す取り組みを行った。

■Webサイトの更新作業

「瀬戸内海クルーズ推進会議」の情報をはじめとして、各ページの情報の更新を行った。

■ホームページを有効利用していただくための取り組み

現在、ホームページの更新頻度が少ないため、各会員自身で更新ができることを伝

え、また積極的な情報発信をしていただくため、改めて全会員に向けて、操作マニュアルの配布と情報発信依頼を行った。また、ホームページへのアクセス状況について解析を行い、その結果を会員へ共有することで、より効果的な情報発信をしてもらえるように努め、各会員からの旬なイベント情報を積極的に発信していただき、また事務局もメールだけでなく、ホームページに情報掲載してもらえるように促した。

4) 防災委員会

■ 「瀬戸内・海的路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」

77 会員 (57 市 19 町 1 村) で締結 (令和 2 年 3 月 1 3 日時点)

		H24.3.29	H24.5.22	H24.7.30	H24.10.29	H24.12.25	H25.3.27	H25.5.22	H25.10.25	H25.12.27	H26.3.28	H26.5.29	H26.12.17	H29.7.21	H29.8.14	H30.9.10	R1.10.25	R2.3.13	計		
近畿・中国ブロック	大阪	堺町	貝塚市	忠岡町				岸和田市	堺市											6	
			高石市																		
		姫路市	南あわじ市					洲本市		明石市					芦屋市						7
	兵庫県	播磨町								淡路市											
		和歌山県	海南市		湯浅町		由良町									和歌山市					4
	岡山県	玉野市		浅口市					笠岡市							備前市		瀬戸内市			5
		広島県	竹原市				広島市		呉市		福山市	東広島市	海田町								
		三原市																			
		尾道市																			
		大竹市																			
	廿日市市																				
	江田島市																				
	坂町																				
	山口県	宇部市	下関市		岩国市					上関町					周南市						
		山口市	光市																		
		防府市	山陽小野田市																		
		柳井市																			
		周防大島町																			
四国・九州ブロック	徳島県	小松島市		松茂町																2	
		高松市		土庄町		観音寺市		東かがわ市	さめき市		三豊市										
		香川県	丸亀市		小豆島町		宇多津町				多度津町										
		坂出市		直島町																	
	愛媛県	松山市					伊予市		宇和島市		今治市	四国中央市	西予市								
		八幡浜市					松前町		愛南町				伊方町								
		新居浜市																			
		西条市																			
		大洲市																			
		上島町																			
中国	山口県		下関市																	1	
九州	大分県	姫島村			中津市												津久見市	佐伯市		4	
合計		28	6	7	2	4	2	4	5	4	4	2	2	3	1	1	1	1	1	77	
累計		28	34	41	43	47	49	53	58	62	66	68	70	73	74	75	76	77	77	77	

○ 「瀬戸内・海的路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」第 2 条（応援の種類）及び第 11 条（通信体制の整備）に関しては、今後、高い確率で発生が予想される南海トラフ地震等に対し、円滑かつ迅速な応援に資するための共有可能な資機材・物資リストや連絡体制の確保のための担当者名簿の更新を行った。

海ネット協定の実効性の確保に関する活動としては、過去の反省点、平成 30 年度に実施したアンケート結果を踏まえ、新様式を活用した情報伝達訓練を令和元年度において実施した。

また、平成 25 年度に創設した「防災対策推進活動支援事業」について、海ネット会員へ周知及び活用を促し、令和元年度は、海ネット会員が参加する「災害時支援船活動」実証訓練実行委員会（神戸市、高松市、小豆島町他）主催により阪神淡路大震災から 25 年となる令和 2 年に、新たな支援船活動モデルによる災害時の避難や要医療・介護者のための「災害時支援船活動」実証訓練を実施し、防災対策推進活動支援事業を活用した。

■情報伝達訓練の参加状況

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成29年度	令和元年度
被災会員	2	4	4	7	6
とりまとめ幹事	2	2	3	2	2
応援会員	2	9	7	15	18
応援困難会員	38	46	46	34	40
参加会員数	44	61	60	58	66

※平成28年度、平成30年度は未実施

(3) 担当者会

令和元年11月21日に約80名の参加のもと香川県坂出市において、担当者会を開催した。開会では開催地を代表し、坂出市綾宏市長による歓迎の挨拶の後、令和元年度の活動経過報告を行った。その後、第1部として各実行委員会に分かれて議論を行い、第2部の全体会においては、各委員会での活動報告と今後の活動方針について説明がなされた。

各実行委員会における主な議論項目は、以下の通りである。

- 環境事業委員会 「リフレッシュ瀬戸内」と「海の健康診断調査」を柱とした継続的な活動に加え、環境事業への参加人数の拡大に取り組む。
- 魅力検討委員会 継続事業（「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」）に加え、「海ネットイベントプランコンテスト」の受賞対象企画の積極的な支援、瀬戸内・海の路の利用振興を推進
- 情報発信委員会 海ネットホームページの充実に向けた取り組み
- 防災委員会 「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」の実効性の確保に向けた訓練の実施、防災対策推進活動支援事業の活用への広報

(4) 会員活動の支援

令和元年度は瀬戸内海の交流・発展につながる活動や各地域の特性を活かした地域振興活動など他の会員の模範となる活動について、以下の支援を行った。

○ 瀬戸内海活性化活動に対する支援一覧

区分	実施会員名	実施活動名	実施日
個別	播磨町	海のふれあい事業	5月25日
個別	福山市	ふくやま港まつり	11月16日～17日
ネットワーク	兵庫県、姫路市	姫路港ふれあいフェスティバル（夏版）	7月14日～15日

○ クルーズ船等寄港地歓迎イベント支援実施一覧

港名	実施会員名	実施活動名	実施日
堺泉北港	大阪府	「飛鳥Ⅱ」寄港歓迎イベント	4月10日
宇部港	宇部市	「カレドニアンスカイ」寄港歓迎イベント	5月5日
坂手港	小豆島町	「にっぽん丸」出港歓迎行事	5月16日
姫路港	兵庫県 姫路市	「カレドニアンスカイ」出港歓送行事	6月10日
高松港	香川県	「マースダム」寄港歓迎イベント	8月3日
和歌山下津港	和歌山市	「ダイヤモンド・プリンセス」寄港歓迎イベント	8月16日
宇野港	玉野市	「ぱしふいっくびいなす」寄港歓迎イベント	11月3日
福山港	福山市	「ぱしふいっくびいなす」寄港歓迎イベント	11月16日
坂出港	坂出市	「にっぽん丸」寄港歓迎イベント	1月9日

○ クルーズ船誘致活動支援実施一覧

実施会員名	実施活動名	実施期間
尾道市	第1回クルーズセミナーin尾道	11月4日
広島県、神戸市、岡山県、 玉野市、香川県、北九州 市、大分県	令和元年度『クルーズせとうち』セミナー	12月16日

(5) 後援活動

後援実績は以下の通りである。

○ 豊稔和太鼓フェスティバル

日時：令和元年10月20日

場所：広島みなと公園

主催：豊稔和太鼓フェスティバル実行委員会

○第1回クルーズセミナーin尾道

日時：令和元年11月4日

場所：グリーンヒルホテル尾道

主催：尾道市

○令和元年度 瀬戸内クルーズセミナー

日時：令和元年12月5日

場所：福岡県福岡市

主催：瀬戸内海観光連携推進会議

(6) 「瀬戸内海クルーズ推進会議」

■「瀬戸内海クルーズ推進会議」の取組み事項について



「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の下に、瀬戸内海クルーズの振興を図り、瀬戸内海が世界的に知名度の高い「エーゲ海」や「カリブ海」等に並ぶブランド力の高いクルーズの海となることを目指す「瀬戸内海クルーズ推進会議」（以下「推進会議」という。）は平成30年度総会で承認されており、令和元年度の取組は以下のとおりであった。

■全体会議実施（第2回、第3回）

第2回全体会議を令和元年5月23日に開催し、以下、3点について取組報告及びアクションプラン作成にむけて基本方針について意見交換が行われた。

- (1) 瀬戸内海クルーズ推進会議の取組報告について
- (2) 瀬戸内海クルーズ推進アクションプランの基本方針(案)について
- (3) 今後の進め方について

第3回全体会議は令和元年11月12日に開催し、「当推進会議によるクルーズ船誘致の活動報告」と「クルーズ船の情報収集活動」の現状について情報共有しました。また、第2回の全体会議で作成決議された「瀬戸内海クルーズ推進アクションプラン」の状況を報告し、意見交換によって今後の行動方針（方向性）を確認した。

 **瀬戸内海クルーズ推進アクションプラン(今後の行動計画)** 

広域連携による戦略的な誘致活動の実施


○クルーズ船社への誘致活動に加え、クルーズ船社、ランドオペレーター等の招聘活動の実施。
※瀬戸内海を更に活かしたクルーズプラン構築や瀬戸内海沿岸の観光コンテンツをさらに把握したいと考えている社）を招聘。
※瀬戸内海クルーズ推進会議の構成員によるプレゼンを実施（併せて希望する社に対して現地視察を実施）。

魅力的なクルーズプランの提案

○瀬戸内海クルーズ推進会議として連携した“おすすめクルーズプラン”の提案。
※クルーズプラン作成のためのチームづくりを実施。
※誘致活動などで得られたクルーズ船社の要望などを踏まえ、瀬戸内海クルーズプランを何パターンか作成。今後の誘致活動、シートレードなどで船社側に提案。

戦略的な情報発信

○船社向けの瀬戸内海クルーズPR動画の作成・更新。
※まずは各自治体で保有している観光PR動画などを再編集し、瀬戸内海クルーズ用に作成。
○瀬戸内海クルーズガイドの作成・更新。
○瀬戸内海クルーズ推進会議によるシートレードグローバル（マイアミ）への参加。
※瀬戸内海クルーズガイドとPR動画を活用したクルーズ船社へのアピール。



【目指すべき将来像】
広域連携による瀬戸内海クルーズのブランド力の向上
(瀬戸内海クルーズ800隻時代を見据えて)

■誘致活動実施（第1弾、第2弾）

瀬戸内海クルーズ推進会議として、誘致活動を実施した。

<誘致活動第1弾>

令和元年9月13日（金）、9月26日（木）～27日（金）の計3日間でクルーズ船社5社への誘致活動を実施した。

《参加自治体数：18》

近畿エリア：5自治体

中国エリア：6自治体

四国エリア：4自治体

九州エリア：3自治体

「瀬戸内海クルーズ推進会議 誘致活動第1弾」 開催状況



<誘致活動第2弾>

令和2年1月21日（火）～22日（水）に、第1弾誘致活動において、瀬戸内海に関心をいだけた船社（1社）に対し、誘致活動第2弾として中国エリアに船社を招聘し、机上による誘致活動のほか、瀬戸内を実体験していただく瀬戸内周遊クルーズを企画した。

《参加自治体数：14》

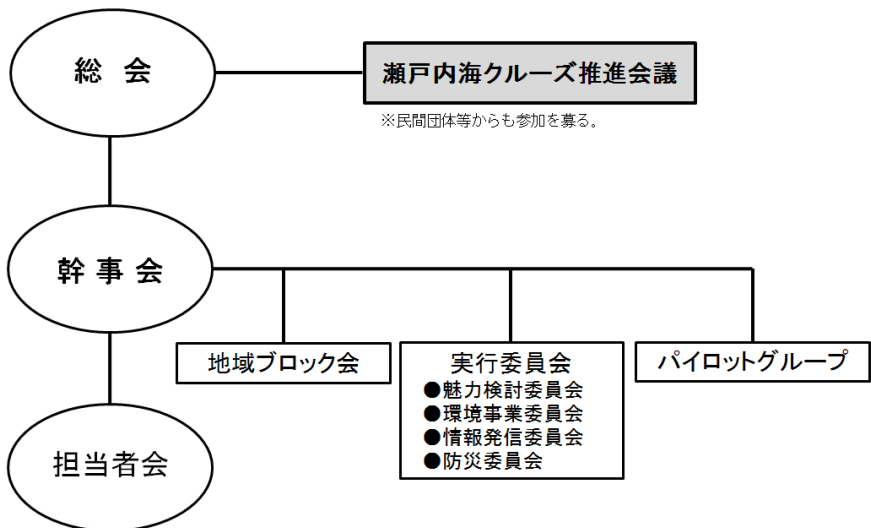
近畿エリア：4自治体

中国エリア：5自治体
 四国エリア：4自治体
 九州エリア：1自治体

「瀬戸内海クルーズ推進会議 誘致活動第2弾」 開催状況



(参考) 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 組織図



瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 「瀬戸内海クルーズ推進会議」規約

第一章 総 則

(設置根拠)

第1条 本会議は瀬戸内・海の路ネットワーク推進会議要綱第22条の3に基づき設置し、「瀬戸内海クルーズ推進会議」（以下「推進会議」という）と称する。

(目的)

第2条 我が国におけるクルーズが進展しつつある中、瀬戸内海や瀬戸内海を囲む諸港、諸地域において、瀬戸内海独自の魅力、特色を活かした独自のクルーズ振興を図り、瀬戸内海が世界的に知名度の高い「エーゲ海」や「カリブ海」等に並ぶブランド力の高いクルーズの海となることを目指す。

また、その取組みを通じて当該海域・地域の振興を図るとともに世界に誇れる主要な観光圏としての地位向上を目的とする。

(活動内容)

第3条 推進会議は第2条の目的を推進するため、次の事項に取り組む。

- (1) 瀬戸内海クルーズ振興のための施策提案
 - ・ 港湾での受入環境改善
 - ・ 港から観光地へのアクセス性向上
 - ・ クルーズ船の航行・寄港時における規制等への対応
- (2) 瀬戸内海クルーズの広報
 - ・ 情報プラットフォームを活用した情報発信
 - ・ 船社等への誘致活動
- (3) その他関連する業務

(活動報告)

第4条 推進会議は、毎年度、過年度の事業実績と当該年度の事業計画を「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」総会に報告する。

第二章 会 員

(会員の構成)

第5条 推進会議は、参加を希望する会員及び会員の推薦による民間団体等により構成する。

(会 費)

第6条 会費は徴収しない。

第三章 組 織

(代表者)

第7条 推進会議に代表及び副代表（以下「代表者」という）を置く。

- (1) 代表 1名
 - (2) 副代表 1名
2. 前項の代表者は、第5条の構成員の中から互選により決定する。

(代表者の職務)

第8条 代表は、議事その他の会務を統括する。

2. 副代表は、代表を補佐し、代表が不在のときは、その職務を代行する。

(代表者の報酬)

第9条 代表者は無報酬とする。

(組織の運営)

第10条 推進会議は、全体会議、エリア会議により運営する。

(全体会議)

第11条 全体会議は第5条に規定する構成員のうち、国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾の港湾管理者、民間団体等及び国の機関をもって構成する。

2. 全体会議に座長を置く。

3. 座長は、全体会議の構成員の互選により決定する。

4. 全体会議は、エリア会議からの提案や報告事項などに基づき、瀬戸内海全域の広域的な視点からクルーズ推進方策を審議し、必要に応じてエリア会議へ提案する。

5. 本規約に定めない全体会議の会議運営上必要な事項については、全体会議で決定する。

(エリア会議)

第12条 エリア会議は、近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、九州地方整備局の管轄地域（エリア）ごとに設置する。

2. エリア会議は第5条に規定する構成員のうち、当該エリアに関係する構成員をもって構成する。

3. エリア会議に座長を置く。

4. 座長はエリア会議の構成員の互選により決定する。

5. エリア会議は、各エリアにおけるクルーズ振興に関する事項を審議し、全体会議に提案及び

報告をする。

6. 本規約に定めないエリア会議の会議運営上必要な事項については、エリア会議で決定する。

(事務局)

第13条 全体会議の事務局は、中国地方整備局、四国地方整備局、近畿地方整備局、九州地方整備局に置くものとする。なお、総括事務局は中国地方整備局とする。

2. 各エリア会議の事務局は、当該エリアを管轄する地方整備局とする。

第四章 その他

(旅費)

第14条 推進会議の各種活動への参加に要する旅費は、構成員の自己負担とする。

第五章 雑 則

第15条 本規約に定めない事項については、全体会議で決定する。

付 則

この規約は、平成30年12月13日より施行する。

「瀬戸内海クルーズ推進会議」 構成員名簿

	エリア	区分	構成員		
海 ネ ッ ト 会 員	近畿エリア	重要港湾以上の港湾 管理者を兼ねる地方 自治体	大阪府	★	
			大阪市	★	
			兵庫県	★	
			神戸市	★	
			和歌山県	★	
		地方自治体	堺市		
			貝塚市		
			高石市		
			岬町		
			姫路市		
			明石市		
			高砂市		
			南あわじ市		
			和歌山市		
			由良町		
		国の機関	近畿地方整備局		★
			近畿運輸局		★
			神戸運輸監理部		★
		中国エリア	重要港湾以上の港湾 管理者を兼ねる地方 自治体	岡山県	★
	広島県			★	
	呉市			★	
	山口県			★	
	地方自治体		玉野市		
			瀬戸内市		
			笠岡市		
			倉敷市		
			広島市		
			竹原市		
			三原市		
			尾道市		
			福山市		
			東広島市		
廿日市市					
江田島市					
坂町					
宇部市					
防府市					
岩国市					
国の機関			中国地方整備局		★
	中国運輸局			★	

海 ネ ッ ト 会 員	四国エリア	重要港湾以上の港湾 管理者を兼ねる地方 自治体	徳島県	★
			香川県	★
			坂出市	★
			愛媛県	★
			今治市	★
		地方自治体	徳島市	
			小豆島町	
			松山市	
			宇和島市	
			大洲市	
			四国中央市	
		国の機関	四国地方整備局	★
			四国運輸局	★
	九州エリア	重要港湾以上の港湾 管理者を兼ねる地方 自治体	下関市	★
			福岡県	★
			北九州市	★
			大分県	★
		地方自治体	別府市	
			佐伯市	
			津久見市	
国の機関		九州地方整備局	★	
		九州運輸局	★	
そ の 他		民間団体等		新居浜港務局
	(一社)中国経済連合会			★
	四国経済連合会			★
	(一社)せとうち観光推進機構			★
	(一社)日本プロジェクト産業協議会			★
	関西エアポート(株)			
	公益財団法人 大阪観光局			
	(一社)イーストとくしま観光推進機構			
	小豆島クルーズ船誘致の会			
	四国ツーリズム創造機構			

★は全体会議の構成員

議事2. 令和元年度収支決算報告

令和元年度収支決算書

(収入の部)

【単位：円】

事 項	予 算 額	収入済額	差 引	内 容	備 考
分 担 金	6,640,000	6,640,000	0	県 @100,000× 11 = 1,100,000	
				市 @ 60,000× 74 = 4,440,000	
				町村@ 50,000× 22 = 1,100,000	
				合計 107 = 6,640,000	
雑 収 入	50	36	△ 14	預金利息	
前期繰越金	4,933,034	4,933,034	0		
収入合計	11,573,084	11,573,070	△ 14		

(支出の部)

【単位：円】

事 項	予 算 額	支出済額	差 引	内 容	備 考
会 議 費	1,810,000	1,528,166	281,834		
通常総会	1,300,000	1,255,576	44,424	通常総会開催補助（宇部市）	
臨時総会	0	0	0		
担当者会	500,000	267,590	232,410	担当者会開催補助（坂出市）	
地域ブロック会	0	0	0		
幹事会	10,000	5,000	5,000	幹事会開催費（広島市）	
事 業 費	8,765,000	5,857,984	2,907,016		
サーバー管理費	3,150,000	2,826,708	323,292	Web#1海の路、瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム	
実行委員会	3,615,000	1,981,276	1,633,724		
魅力検討	2,200,000	1,400,000	800,000	海ネットサポーター2件・海ネットイベントプランコンテスト3件	
環境事業	915,000	498,260	416,740	リフレッシュ瀬戸内・海の健康診断調査補助	
情報発信	0	0	0		
防災	400,000	83,016	316,984		
委員会予備	100,000	0	100,000		
会員活動の支援	2,000,000	1,050,000	950,000	瀬戸内海活性化活動支援・瀬戸内海クルーズ推進活動支援	
瀬戸内海活性化活動	900,000	400,000	500,000	ネットワーク活動1件、個別活動2件	
クルーズ推進活動	1,000,000	650,000	350,000	寄港地歓迎イベント9件、誘致活動2件	
活動支援予備	100,000	0	100,000		
事 務 費	890,000	854,378	35,622		
業務委託費	120,000	120,000	0	シートレード・クルーズ・グローバル2019	
印刷費	730,000	712,800	17,200	機関誌「海の路」	
通信費	0	0	0		
消耗品費	10,000	0	10,000		
雑費	30,000	21,578	8,422	振込手数料	
予 備 費	108,084	0	108,084		
支出合計	11,573,084	8,240,528	3,332,556		

収入済額	11,573,070
支出済額	8,240,528
差引残額	3,332,542

(支出の詳細)

【単位：円】

項目	予算	細目	申請(請求)年月日	決裁日	執行	金額		
通常総会 予算	1,300,000	令和元年度通常総会開催補助(総会会場借上等)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	852,734		
		令和元年度通常総会開催補助(総会司会)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	54,000		
		令和元年度通常総会開催補助(会議音声反訳)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	75,816		
		令和元年度通常総会開催補助(総会会場壺花代)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	12,000		
		令和元年度通常総会開催補助(消耗品)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	842		
		令和元年度通常総会開催補助(アトラクション出演料)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	108,000		
		令和元年度通常総会開催補助(お茶会会場雑費)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	9,000		
		令和元年度通常総会開催補助(バス借上)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	108,800		
		令和元年度通常総会開催補助(現地視察ガイド料)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	10,000		
		令和元年度通常総会開催補助(お茶代)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	24,384		
		計				1,255,578		
担当者会 予算	500,000	令和元年度担当者会開催補助(会場借上)	令和元年12月18日	令和元年12月19日	令和元年12月19日	201,850		
		令和元年度担当者会開催補助(バス借上)	令和元年12月18日	令和元年12月19日	令和元年12月19日	65,740		
		計				267,590		
幹事会 予算		令和元年度幹事会 お茶代	令和元年6月18日	令和元年6月18日	令和元年6月19日	5,000		
	10,000	計				5,000		
サーバー管理費 予算	3,150,000	瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム構築	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	1,566,000		
		瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム構築用画像購入	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	21,600		
		瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム構築用画像購入	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	54,000		
		瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム運用・保守	令和2年3月26日	令和2年3月26日	令和2年4月2日	787,200		
		協議会HP維持管理費	令和2年3月23日	令和2年3月23日	令和2年4月2日	397,980		
		計				2,826,708		
魅力検討委員会 予算	2,200,000	イベントプランコンテスト(風早活性化協議会)	令和元年12月18日	令和元年12月19日	令和元年12月19日	200,000		
		海ネットサポーター提案事業(小松島市・NPO法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま)	令和2年1月6日	令和2年1月27日	令和2年1月29日	200,000		
		イベントプランコンテスト(竹原市)	令和2年2月27日	令和2年2月27日	令和2年2月28日	300,000		
		海ネットサポーター提案事業(浅口市・よりしま海と魚の祭典実行委員会)	令和2年2月28日	令和2年3月2日	令和2年3月5日	200,000		
		イベントプランコンテスト(中津市)	令和2年3月23日	令和2年3月23日	令和2年3月25日	500,000		
		計				1,400,000		
環境事業委員会 予算	915,000	海の健康診断調査補助金(小松島市)	令和元年8月2日	令和元年8月6日	令和元年8月8日	15,000		
		海の健康診断調査補助金(坂出市)	令和元年8月29日	令和元年8月30日	令和元年8月30日	15,000		
		海の健康診断調査補助金(岩国市)	令和元年9月11日	令和元年9月18日	令和元年9月25日	15,000		
		海の健康診断調査補助金(姫島村)	令和元年9月11日	令和元年9月18日	令和元年9月25日	15,000		
		令和元年度リフレッシュ瀬戸内ブロック拠点地補助(小豆島町)	令和元年9月30日	令和元年10月1日	令和元年10月3日	60,000		
		令和元年度リフレッシュ瀬戸内ブロック拠点地補助(御町)	令和元年9月30日	令和元年10月1日	令和元年10月3日	60,000		
		令和元年度リフレッシュ瀬戸内ブロック拠点地補助(和歌山市)	令和元年10月2日	令和元年10月3日	令和元年10月3日	60,000		
		海の健康診断調査補助金(和歌山市)	令和元年10月2日	令和元年10月3日	令和元年10月3日	3,260		
		令和元年度リフレッシュ瀬戸内ブロック拠点地補助(小松島市)	令和元年10月7日	令和元年10月8日	令和元年10月8日	60,000		
		令和元年度リフレッシュ瀬戸内ブロック拠点地補助(伊予市)	令和元年10月7日	令和元年10月8日	令和元年10月8日	60,000		
		海の健康診断調査補助金(伊予市)	令和元年10月7日	令和元年10月8日	令和元年10月8日	15,000		
		令和元年度リフレッシュ瀬戸内ブロック拠点地補助(神戸市)	令和元年10月30日	令和元年10月31日	令和元年11月5日	60,000		
令和元年度リフレッシュ瀬戸内ブロック拠点地補助(浅口市)	令和元年11月27日	令和元年11月28日	令和元年11月29日	60,000				
		計				498,260		
情報発信委員会 予算	0					0		
		計				0		
防災委員会 予算	400,000	防災対策推進活動支援(神戸市)	令和2年3月23日	令和2年3月23日	令和2年3月23日	83,016		
		計				83,016		
委員会予備 予算	100,000					0		
		計				0		
瀬戸内海活性化活動 予算	900,000	瀬戸内海活性化活動(個別活動)支援(播磨町)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	100,000		
		瀬戸内海活性化活動(ネットワーク活動)支援(兵庫県・姫路市)	令和元年9月2日	令和元年9月3日	令和元年9月4日	200,000		
		瀬戸内海活性化活動(個別活動)支援(福山市)	令和2年2月17日	令和2年2月18日	令和2年2月18日	100,000		
		計				400,000		
瀬戸内海クルーズ推進 予算	1,000,000	クルーズ船等寄港地歓迎イベント(大阪府)	令和元年6月18日	令和元年6月18日	令和元年6月19日	50,000		
		クルーズ船等寄港地歓迎イベント(兵庫県・姫路市)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	50,000		
		クルーズ船等寄港地歓迎イベント(小豆島)	令和元年6月26日	令和元年6月26日	令和元年7月1日	50,000		
		クルーズ船等寄港地歓迎イベント(宇部市)	令和元年7月10日	令和元年7月11日	令和元年8月8日	50,000		
		クルーズ船等寄港地歓迎イベント(香川県)	令和元年9月11日	令和元年9月18日	令和元年9月25日	50,000		
		クルーズ船等寄港地歓迎イベント(和歌山市)	令和元年10月8日	令和元年10月16日	令和元年10月17日	50,000		
		クルーズ船誘致活動(尾道市)	令和元年12月18日	令和元年12月19日	令和元年12月19日	100,000		
		クルーズ船誘致活動(せとうちクルーズセミナー)	令和2年1月8日	令和2年1月27日	令和2年1月29日	100,000		
		クルーズ船寄港地歓迎イベント(宇野港航路誘致活動推進協議会)	令和2年1月17日	令和2年1月27日	令和2年1月29日	50,000		
		クルーズ船等寄港地歓迎イベント(福山市)	令和2年2月17日	令和2年2月18日	令和2年2月18日	50,000		
		クルーズ船等寄港地歓迎イベント(坂出市)	令和2年3月11日	令和2年3月12日	令和2年3月13日	50,000		
				計				650,000
		活動支援予備 予算	100,000					0
		計				0		
業務委託費	120,000	「シートレード・クルーズ・グローバル2019」出展情報掲載・出展料	令和元年6月18日	令和元年6月18日	令和元年6月19日	120,000		
		計				120,000		
印刷費 予算	730,000	機関誌「海路」Vol.31印刷	令和元年6月18日	令和元年6月18日	令和元年6月19日	712,800		
		計				712,800		
通信費 予算	0					0		
		計				0		
消耗品費 予算	10,000					0		
		計				0		
雑費 予算	30,000	振込手数料				21,578		
		計				21,578		
予備費 予算	108,084					0		
		計				0		
11,573,084		支出額合計				8,240,528		

監 査 報 告

令和元年度、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の収支決算について、関係帳簿並びに証拠書類を詳細に監査した結果、正規の手続きにより厳粛かつ適正に処理されていることを認めます。

令和2年 4月 27日

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

会 長 田中 利明 様

監査役

三原市長

天満 祥典 

監査役

伊予市長

武智 邦典 

議事 3. 令和 2 年度事業計画（案）

（1）活動方針

令和 2 年度においては、「リフレッシュ瀬戸内」の参加人数の拡大を図るため積極的にアピールし、活動を広めていく事や、会員同士の連携や瀬戸内地域の交流・連携、地域振興の取組が積極的に展開されるように、「海ネットイベントプランコンテスト」等の各支援制度の活用を推進する。

また、引き続き海ネット協定の実効性を確保するための情報伝達訓練等の実施及び海ネットサポーターと連携した活動について推進する。

ホームページを活用し、より新しく、より魅力的な情報発信を行える体制を目指す。

（2）実行委員会活動

1) 環境事業委員会

■方 針

「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉に実施している「リフレッシュ瀬戸内」において、ゴミを捨てることにより、直接的な美化効果をあげていく。また、予防的な効果をあげていくために「ゴミを捨てない、捨てさせない」という排出抑制につながる取り組みとして、捨てられていたゴミの組成調査「海健康診断調査」を実施し、データの蓄積を行うとともに、現在ゴミの大半が人工的なプラスチック類であることから、「地球に優しい 3 つの R」をキャッチフレーズに、排出抑制 (Reduce)、再資源 (Reuse)、再資源化 (Recycle) の促進に向け、調査結果を内外にアピールする。

■令和 2 年度活動内容

「リフレッシュ瀬戸内」及び「海健康診断調査」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から清掃活動を中止せざるを得ない状況となったが、更なる参加者の増加を目標とし、「リフレッシュ瀬戸内」の宣伝活動として、清掃活動に協賛する企業の CSR 活動や NPO など、地域活動団体等との協働の継続・拡大や環境関連行事との連携などを模索する。これに加え、海ネットサポーターをはじめとする企業等との協賛・後援による更なる協力体制の強化を図る。

○リフレッシュ瀬戸内

○海健康診断調査

→新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とする。

2) 魅力検討委員会

■方 針

多島美や白砂青松で知られ、風光明媚な自然景観を有する瀬戸内海沿岸は、歴史的建造物や古い港の町並みなどの人文景観にも優れ、沿岸自治体では、様々な“テーマ”を掲げ、多様な観光ニーズに対し効果的なイベントを展開しているところである。

魅力検討委員会では、これらのような取り組みに対して積極的に支援や連携を図り、瀬戸内海の魅力を発信していくとともに、会員相互の交流・連携の推進により地域間の絆を深め、災害時にその絆を防災ネットワークとして活用できるように瀬戸内・海の路の利用振興を図っていく。

■令和2年度 活動内容

瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域文化の保全・継承や、瀬戸内ブランドの価値の向上のため、会員間の連携を図りつつ、「海ネットイベントプランコンテスト」で選ばれた事業を積極的に支援する。

また、「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」を継続実施し、積極的な支援を通じて、会員間の連携による防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を推進する。

■瀬戸内・海の路利用振興事業

① 制度の概要

瀬戸内・海の路利用振興事業は、会員間における防災ネットワーク機能の強化(平時の観光ルートとしての「海の路」が、災害時には人員・物資輸送ルートや被災者の緊急搬送ルートとして活用が可能)を視野に入れた取り組みとして、平時における「瀬戸内・海の路」を活用したモニターツアー(新規ルートの開拓)を実施することにより、「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」の実効性を確認することを目的とする。

② 支援内容

- ・モニターツアーの実施にあたっては、今後の定期観光事業としても実現可能となるような新規の観光ルートや寄港地での体験・交流イベントを提案するものとし、更には寄港地間の防災ネットワーク機能強化にも資する様、採択要件に十分配慮したモニターツアーの提案事業に対して積極的に支援していく。
- ・協議会として共催・後援することで、事業の成功を支援する。
- ・費用の全部もしくは一部を協議会から支援し、活動を助成する(限度額 20 万円)。

③ 採択要件

- ・会員が航路事業者、民間事業者等と協働して行う活動であること。ただし、会員単独、または複数の会員のみで行う活動についても支援する。
- ・航路事業者が保有している予備船や、民間事業者・個人等が所有するクルーズ船などを活用する。
- ・最小催行人数は 30 人程度とし、参加者より負担金として一定額を徴収する。
- ・モニターツアーの広告(チラシ)を作成するなど、広く広報を行うこと。
※広報手段は問わない。
- ・災害時に活用可能とするため、定期航路のない経路を含むツアーとすること。
- ・防災の視点を盛り込んだ参加者へのアンケート調査を行うとともに、使用栈橋及び、接岸施設から半径約 1 km 程度の範囲内における主たる防災関連施設(避難所・収容施設、病院、診療所、ヘリコプター着陸適地等)の現状を整理すること。
- ・事業内容と成果の概要を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会、機関誌、HP 等を通じて会員各位へ報告し協議会会員への参考とする。

■海ネットサポーター提案事業

① 制度の概要

瀬戸内のブランド化に向けた取り組みとして、行政である会員と海ネットサポーターとが連携し、瀬戸内の魅力を発信する事等を通じて、瀬戸内地域の海の路を通じた地域振興を図ることを目的とする。

② 支援内容

- ・海ネットサポーター提案事業の実施にあたっては、地域振興を図っていく上で継続実施が可能となるような事業を提案するものとし、かつ、他の海ネットサポーターとの連携も視野に入れた下記採択要件に十分配慮した提案事業に対して積極的に支援していく。
- ・協議会として共催・後援することで、事業の成功を支援する。
- ・費用の全部もしくは一部を協議会から支援し、活動を助成する(限度額20万円)。

③ 採択要件

- ・海ネットサポーターと会員が連携して行なう活動等であること。
※会員単独、もしくは海ネットサポーター単独の活動は認めない。
- ・瀬戸内海の共通の交流連携テーマである『クルーズ、島、平清盛、村上水軍、環境、瀬戸内海、みなと、観光、グルメ(食)、防災、フェリー』等のいずれかに沿った提案事業である事。
- ・クルーズやフェリー等、船舶を使用する活動については、以下の条件を満たすものとする。
 - 1) 最小催行人数は30人程度とし、参加者より負担金として一定額を徴収する。
 - 2) モニターツアーの広告(チラシ)を作成するなど、広く宣伝すること。
※広報手段は問わない
 - 3) 災害時に活用可能とするため、定期航路のない経路を含むツアーとすること。
 - 4) 防災の視点を盛り込んだ参加者へのアンケート調査を行うとともに、使用桟橋及び、接岸施設から半径約1km程度の範囲内における主たる防災関連施設(避難所・収容施設、病院、診療所、ヘリコプター着陸適地等)の現状を整理すること。
- ・事業の広告(チラシ)を作成するなど、広く宣伝すること。
※広報手段は問わない。
- ・事業内容と成果の概要を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会、機関誌、HP等を通じて会員各位へ報告し協議会会員への参考とする。

■海ネットイベントプランコンテスト

① 制度の概要

瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域文化の保全・継承や、瀬戸内ブランドの価値の向上など、オリジナリティ溢れる地域活性化への取り組みに対し積極的に支援し、地域間交流を促進するとともに広く周辺地域に情報発信することにより、瀬戸内地域全体の魅力を高めることが必要である。

海ネットイベントプランコンテストは、事前に企画した瀬戸内の魅力を向上させるイベントプランを会員から募集し、海ネット会員による審査投票により支援対象イベントを決定するものであり、継続的に実施しているイベントの発展、目的意識

の明確化、会員間の情報交換の促進などの効果も期待される。

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会は、決定した事業に対して積極的な支援を行い、広域的な連携活動に繋げていく。

② 応募要件

- ・会員（会員が主構成員となっている組織・団体を含む）が行う港や海岸を中心としたイベント活動であること。
- ・瀬戸内の豊かな自然環境や歴史的な地域文化の保全・継承や、瀬戸内ブランドの価値の向上など、オリジナリティ溢れる地域活性化への取り組みであること。
- ・他会員との連携や周辺地域への情報発信に努めること。
- ・事業内容と成果の概要をとりまとめ、幹事会、担当者会、総会、機関誌、HP等を通じて会員各位へ報告し、協議会会員へ積極的な情報提供に努めること。

③ 募集期間

令和2年6月上旬～令和3年1月下旬（予定）

④ 審査方法

- ・応募のあった全ての企画について、全会員による審査（書類審査）により受賞企画を決定する。

※2月に全会員による投票、3月に受賞企画及び各賞を発表

⑤ 各賞

- 最優秀賞 50万円（イベント支援金としての上限額）
- 優秀賞 30万円（ 〃 ）
- 奨励賞 20万円（ 〃 ）

※各賞を受賞したイベントについては、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」が後援し、積極的な広報活動等を行う。

3) 情報発信委員会

■方針

これまでの海ネット活動の成果など効果的に情報発信を行うとともに、より多くの人々に瀬戸内の魅力を認識していただき、興味をもって貰えるような情報発信を目指していく。

■令和2年度 活動内容

海ネットホームページを活用し、より新しく、より魅力的な情報発信を行える体制を目指し、引き続き、各会員に定期的に情報発信依頼を行う。特に、海ネットの活動支援等に採用されるようなイベントについては積極的に情報発信を促していきたい。また、ホームページへのアクセス状況を定期的分析し、より効果的な広報体制を目指す。

4) 防災委員会

■令和2年度の組織体制

協定運営協議会	
幹事：岡山県備前市	副幹事：香川県土庄町
構成員：大阪府高石市	構成員：徳島県小松島市

同 兵庫県南あわじ市	同 愛媛県四国中央市
同 和歌山県由良町	同 山口県下関市
同 広島県坂町	
同 山口県山陽小野田市	
地域ブロック幹事・副幹事	
近畿・中国ブロック	四国・九州ブロック
幹事：山口県山陽小野田市 副幹事：大阪府高石市 同 兵庫県南あわじ市 同 和歌山県由良町 同 岡山県備前市 同 広島県坂町	幹事：香川県土庄町 副幹事：徳島県小松島市 同 愛媛県四国中央市 同 山口県下関市

■方針

引き続き締結会員の拡大を図るとともに、近年発生した災害対応における課題を抽出し、「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」第12条（協定の実効性の確保）に向けての訓練を実施する。さらに、協定会員を含めた海ネット会員による「防災対策推進活動事業」の積極的な活用を図るための広報を行う。

■令和2年度 活動内容

- ① 「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」について、引き続き締結会員の拡大を図るとともに、新たに加入した締結会員や本委員会の活動内容等について積極的に情報発信を行う。
- ② 「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」第12条（協定の実効性の確保）に向けての具体的な行動として、訓練やアンケート結果を踏まえ、訓練内容、実施体制や情報伝達の方法を検討する。また「防災対策推進活動支援事業」が広く活用されるよう働きかけを行うとともに、支援要件の緩和についても検討を行う。

■防災対策推進活動支援事業

① 制度の概要

災害対策基本法に基づき、地域防災計画等により位置づけを行っている緊急物資輸送ルート等、陸路を活用した「防災訓練」のみならず、海の路を通じた人員・物資輸送ルート、被災者の緊急搬送ルート等を確認するための「防災訓練」を複数または単独で海ネット会員として実施し、防災ネットワーク機能の強化、協定締結会員の拡大を図るとともに、海ネット協定の実効性の確認を更に進めていく。

② 支援内容

- ・海ネットとして共催・後援することで、防災訓練を支援すること。
- ・必要に応じ、他の会員にも防災訓練への参加を呼びかけること。
- ・費用の全部、もしくは一部を海ネットから支援すること（限度額40万円）。

③ 支援要件

- ・海ネット会員が実施する海の路を通じた「防災訓練」であること。なお、情報

伝達訓練のみの実施も可とする。

- ・ 訓練概要と内容を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会等を通じて会員各位へ報告すること。

(3) 会員活動の支援

1) 瀬戸内海活性化活動への支援

■ネットワーク活動支援

① 制度の概要

瀬戸内地域の交流・連携、地域振興を進めていくためには、小規模な活動でも、瀬戸内全体、あるいは他の会員グループの活動の模範となる活動が必要である。

また、地域振興等を進めていくためには、各地域の特性を活かし、地域が連携して取り組む事によって更なる瀬戸内海の交流・発展につながる継続可能な活動が必要である。

これらの活動を瀬戸内地域の一つの交流・連携推進活動として位置づけ、協議会として支援し育てていくとともに、広くその内容を会員へ広報し、参加・視察の機会を提供する。

なお、協議会全体で取り組むことが相応しいと考えられる事業については、協議会全体で取り組む骨格事業、実行委員会活動として発展させていく。

② 支援内容

- ・ 協議会として共催・後援すること。
- ・ 必要に応じ、広く会員全体にも参加を呼びかけること。
- ・ 費用の全部もしくは一部を協議会から支援し、活動を財政的に支援すること。
※支援金は1会員1回までとし、上限20万円。

③ 具備すべき要件

- ・ 単独でなく、複数の会員で行う活動であること。(パイロットグループの設置)
- ・ 会員が主体となり、実施する活動であること。
- ・ 瀬戸内海の共通の交流連携活動資源(海、港、歴史、文化等)を生かした活動であること。
- ・ 新しい試み、または既存の活動でも、瀬戸内海の豊かな自然環境の保全、歴史文化等各地域の特性を活かした地域間交流を促進するものや、各会員の模範となる活動など瀬戸内地域全体の交流・発展につながることを期待できる活動であり、他の会員の活動への反映が期待できる活動であること。
- ・ 継続した活動の場合、当該活動を継続的に実施することによって瀬戸内地域の更なる発展、活性化が期待でき、その活用によって他会員への反映又は今後の連携が期待できる活動であること。
- ・ 事業内容・成果の概要を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会、機関誌、HP等を通じて会員各位へ報告し協議会会員へ報告すること。

■個別活動支援

① 制度の概要

瀬戸内地域の地域振興を進めていくためには、他の会員の模範となる各会員市町村が独自で実施しているみなを中心としたイベント・活動等の実績を積み上げ、

会員間で情報共有することで、各会員での地域振興活動の一助とすることが効果的である。そのため、各会員が実施する良質なイベント・活動等へ協議会が共催・後援を行うことにより、瀬戸内全域への広域広報、会員相互の連携を推進していく。

② 支援内容

- ・協議会として共催・後援すること。
- ・必要に応じ、広く会員全体にも参加を呼びかけること。
- ・費用の全部もしくは一部を協議会から支援し、活動を財政的に支援すること。
※支援金は1会員1回までとし、上限10万円。

③ 具備すべき要件

- ・会員が行なうみなとを中心としたイベント・活動等であること。
- ・会員が主体となり、実施する活動であること。
- ・新しい試み、または既存の活動でも、瀬戸内海の豊かな自然環境の保全、歴史文化等各地域の特性を活かしたもの、マリンレジャー、マリンスポーツや各会員の模範となる活動など瀬戸内地域全体の交流・発展につながることを期待できる活動であり、他の会員の活動への反映が期待できる活動であること。
- ・継続した活動の場合、当該活動を継続的に実施することによって瀬戸内地域の更なる発展、活性化が期待でき、その活用によって他会員への反映又は今後の連携が期待できる活動であること。
- ・活動内容・成果の概要を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会、機関誌、HP等を通じて会員各位へ報告すること。

2) 瀬戸内海クルーズ推進活動への支援

■クルーズ船等寄港地歓迎イベント支援

① 制度の概要

瀬戸内海をクルーズで訪れる乗船客にとって海の玄関口である「みなと」でのおもてなしは、瀬戸内地域の魅力を発信する上でも必要である。

こうした活動に海ネットが共催・後援を行なうことで、瀬戸内全域への広域広報、会員相互の連携を図る。

② 支援内容

- ・協議会として共催・後援すること。
- ・費用の全部もしくは一部を協議会から支援し、活動を財政的に支援すること。
※支援金は1会員1回までとし、上限5万円。

③ 支援要件

- ・出発港、寄港地または寄港地周辺の会員が行うクルーズ船等（帆船含む）寄港地歓迎イベントであること。
- ・活動内容・成果の概要を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会、機関誌、HP等を通じて会員各位へ報告すること。

■クルーズ船誘致活動支援

① 制度の概要

クルーズは瀬戸内地域の観光振興を図り、瀬戸内海の魅力を発信する上でも大変重要であり、そのためには、積極的なクルーズ船の誘致活動が必要である。

こうした活動を瀬戸内地域の一つの連携活動として位置づけ、海ネットとして支

援し発展させる。

② 支援内容

- ・協議会として共催・後援すること。
- ・費用の全部もしくは一部を協議会から支援し、活動を財政的に支援すること。
※支援金は1会員1回までとし、上限10万円。

③ 支援要件

- ・会員が行う誘致活動であること（単独またはパイロットグループの設置）。
- ・活動内容・成果の概要を取りまとめ、幹事会、担当者会、総会、機関誌、Webサイト等を通じて会員各位へ報告すること。

（4）担当者会

次年度活動の検討等について担当者レベルで討議し、幹事会に提案を行うため、以下のとおり開催する。

開催時期：令和2年10～11月頃

開催場所：広島県広島市

（5）機関誌「海の路」

当協議会の活動状況を取りまとめ、機関誌「海の路」を作成する。

（6）瀬戸内海クルーズ推進会議について

瀬戸内海クルーズ推進会議として進める5つの取組を深化させるとともに、各港においてアクションプランを更新し、広域連携による瀬戸内海クルーズのブランド力向上を目指す。

また、瀬戸内海クルーズ推進会議構成員の更なる連携を構築し、誘致活動やクルーズ関連シンポジウム等を開催する。

議事 4. 令和 2 年度収支予算（案）

（収入の部）

【単位：円】

事 項	令和元年度 予算（参考）	令和 2 年度 予算：①	令和元年度 決算：②	増減：①-②	内 容
分 担 金	6,640,000	6,640,000	6,640,000	0	県 @100,000× 11 = 1,100,000
					市 @ 60,000× 74 = 4,440,000
					町村@ 50,000× 22 = 1,100,000
					合計 107 = 6,640,000
雑 収 入	50	40	36	4	預金利息
前期繰越金	4,933,034	3,332,542	4,933,034	△ 1,600,492	
収入合計	11,573,084	9,972,582	11,573,070	△ 1,600,488	

（支出の部）

【単位：円】

事 項	令和元年度 予算（参考）	令和 2 年度 予算：①	令和元年度 決算：②	増減：①-②	内 容
会 議 費	1,810,000	510,000	1,528,166	△ 1,018,166	
通常総会	1,300,000	0	1,255,576	△ 1,255,576	通常総会開催補助（書面決議）
臨時総会	0	0	0	0	
担当者会	500,000	500,000	267,590	232,410	担当者会開催補助（広島市）
地域ﾌﾞﾛｯｸ会	0	0	0	0	
幹 事 会	10,000	10,000	5,000	5,000	幹事会開催費（広島市）
事 業 費	8,765,000	7,000,000	5,857,984	1,142,016	
サーバー管理費	3,150,000	2,100,000	2,826,708	△ 726,708	Webサイト海の路、瀬戸内海クルーズ情報プラットフォーム
実行委員会	3,615,000	2,900,000	1,981,276	918,724	
魅力検討	2,200,000	2,200,000	1,400,000	800,000	海むすびがらみ提案事業・海の路の利用振興事業・海むすびイベントプランコンテスト
環境事業	915,000	200,000	498,260	△ 298,260	環境関連支援
情報発信	0	0	0	0	
防災	400,000	400,000	83,016	316,984	防災対策推進活動支援・防災訓練等
委員会予備	100,000	100,000	0	100,000	
会員活動の支援	2,000,000	2,000,000	1,050,000	950,000	瀬戸内海活性化活動支援・瀬戸内海クルーズ推進活動支援
瀬戸内海活性化活動	900,000	900,000	400,000	500,000	
クルーズ推進活動	1,000,000	1,000,000	650,000	350,000	
活動支援予備	100,000	100,000	0	100,000	
事 務 費	890,000	890,000	854,378	35,622	
業務委託費	120,000	100,000	120,000	△ 20,000	「シートレードグローバル2020」情報掲載料
印刷費	730,000	750,000	712,800	37,200	機関誌「海の路」
通信費	0	0	0	0	
消耗品費	10,000	10,000	0	10,000	
雑 費	30,000	30,000	21,578	8,422	振込手数料等
予 備 費	108,084	1,572,582	0	1,572,582	
支出合計	11,573,084	9,972,582	8,240,528	1,732,054	

議事 5. 海ネットサポーターの承認（案）

「海ネットサポーター規約」第3条の規定に基づき、会員から推薦のあった以下の団体について承認する。

市町村名	団体名	住 所	業 種
大阪市	(一社)港まちづくり協議会大阪	大阪府大阪市港区築港3-7-15 港振興ビル206A	地域づくり企画・運営
泉大津市	阪九フェリー(株)	福岡県北九州市門司区新門司北1丁目1番	海上輸送
泉大津市	泉大津マリン(株)	大阪府泉大津市なぎさ町6番1号 堺泉北港ポートサービスセンタービル5F	マリーナ業
貝塚市	大阪府ヨットセーリング連盟 二色ハーバー「OCEAN ONE」	大阪府貝塚市二色港町1	マリンレジャー
貝塚市	(株)二色の浜観光協会	大阪府貝塚市脇浜2丁目1-15	マリンレジャー
岬町	岬町観光協会	大阪府泉南郡岬町深日2000-1	観光
岬町	岬町商工会	大阪府泉南郡岬町深日746-748	商工の育成
岬町	(一財)大阪府マリーナ協会	大阪府泉南郡岬町淡輪6190	マリーナ業
神戸市	(株)フェリーさんふらわあ	兵庫県神戸市東灘区向洋町東3丁目21番	海上輸送
加古川市	BAN-BANネットワークス(株)	兵庫県加古川市加古川町粟津26-2	マス・メディア
南あわじ市	ジョイポート南淡路(株)	兵庫県南あわじ市福良甲1528-4	観光船
たつの市	たつの市商工会	兵庫県たつの市揖保川町原849-37	団体
和歌山市	南海フェリー(株)	和歌山県和歌山市湊2835-1	海運業 定期航路(フェリー)事業者
和歌山市	和歌山マリーナシティ(株)	和歌山県和歌山市毛見1527	ホテル、飲食物販、マリーナ、温泉・レジャー施設、海釣り公園
和歌山市	和歌山マリーナ 指定管理者(株)マリンルームオオタ	和歌山県和歌山市毛見1530	マリンレジャー
和歌山市	(株)マリンルームオオタ	和歌山県和歌山市築港6丁目17	ボート販売・マリンレジャー
和歌山市	和歌浦漁港おとつと広場 指定管理者(有)ベイサイド和歌浦	和歌山市和歌浦南1-1496-5	指定管理者
播磨町	泉佐野ウォーターフロント株式会社	泉佐野市りんくう往来北6番地	マリンレジャー
湯浅町	(一社)湯浅町観光まちづくり推進機構	和歌山県有田郡湯浅町青木668-1	観光
湯浅町	湯浅町商工会	和歌山県有田郡湯浅町湯浅1724	経済団体

鳴門市	(一社)鳴門市うずしお観光協会	徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜165-10	観光
小松島市	NPO法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま	徳島県小松島市小松島町字新港19	まちづくり
小松島市	小松島漁業協同組合	徳島県小松島市南小松島町1番15号	水産物販売
小松島市	(一社)CS阿波地域再生まちづくり	徳島県小松島市和田島町字松田新田305番地77	地市及び地方計画、研究調査等
小松島市	(有)浜田造船所	徳島県徳島市津田本町1-4-6	クルーズ業
小松島市	こまつしまブランド戦略推進協議会	徳島県小松島市横須町1番1号	水産物販売
坂出市	坂出市観光協会	香川県坂出市元町一丁目1番1号	観光
坂出市	(公財)瀬戸大橋記念公園管理協会	香川県坂出市番の州緑町6番地13	観光
坂出市	香川テレビ放送網(株)	香川県坂出市京町一丁目6番37号	マス・メディア
坂出市	エフエムサン(株)	香川県坂出市京町一丁目6番38号	マス・メディア
坂出市	あさひ丸	香川県坂出市瀬居町4	観光船
高松市	(公財)高松観光コンベンション・ビューロー	香川県高松市サンポート1番1号 高松港旅客ターミナルビル7階	観光客誘致
新居浜市	マリンパーク新居浜管理共同企業体	愛媛県新居浜市垣生三丁目乙324番地	マリンレジャー
松山市	石崎汽船(株)	愛媛県松山市高浜町五丁目2259-1 松山観光港ターミナル内	定期航路事業者
今治市	NPO法人今治シビックプライドセンター	愛媛県今治市南宝来町1-5-23	まちづくり
玉野市	(公社)玉野市観光協会	岡山県玉野市築港1-1-3 産業振興ビル1階	観光
玉野市	NPO法人UNOICHI実行委員会	岡山県玉野市築港1-2	イベント運営・企画
笠岡市	三洋汽船(株)	岡山県笠岡市笠岡2418-8	内陸水運業
笠岡市	NPO法人かさおか島づくり海社	岡山県笠岡市北木島町9768-1	福祉事業
備前市	東洋マリーナ(株)	岡山県備前市西片上1365-15	マリンレジャー
備前市	(有)川崎商会 日生マリーナ	岡山県備前市日生町寒河40	マリンレジャー
備前市	備前マリーナ	岡山県備前市鶴海54	マリンレジャー

備前市	マリンショップ角野	岡山県備前市穂浪3629-6	マリンレジャー
瀬戸内市	ホテル・リマーニ	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓3900	ホテル
浅口市	よりしま海と魚の祭典実行委員会	岡山県浅口市寄島町16010番地	イベント運営・企画
広島市	(株)WAKOフロンティア	広島県広島市中区南吉島1-1	ボートパーク
広島市	グランドプリンスホテル広島	広島県広島市南区元宇品町23-1	ホテル
広島市	NPO法人まちづくりコミュニティデザイン研究所	広島県広島市南区宇品海岸1-13-13	まちづくり
広島市	広島地区旅客船協会	広島県広島市南区宇品海岸一丁目13番26号	旅客船事業、観光
呉市	呉市 呉広域商工会	広島県呉市川尻町西1丁目1-1	経済団体
竹原市	休暇村 大久野島	広島県竹原市忠海町54776-4	宿泊施設
竹原市	株式会社 いいね竹原	竹原市中央4丁目5-11-201	たけはら海の駅(北崎港旅客ターミナル) 指定管理者
三原市	NPO法人みはらまちづくり兎っ兎	広島県三原市城町三丁目1番1号	ボランティア団体
三原市	(株)三原国際ホテル	広島県三原市城町一丁目2番1号	ホテル
三原市	登喜将 本店	広島県三原市城町三丁目2番7号	和食 タコ料理
三原市	(株)三原シティホテル	広島県三原市城町二丁目2番2号	ホテル
尾道市	(有)歌港組	広島県尾道市向東町12644	一般港湾運送事業
尾道市	(株)グリーンヒルホテル尾道	広島県尾道市東御所町9番1号	ホテル
尾道市	尾道ウォーターフロント開発(株)	広島県尾道市東御所町9番1号	不動産
尾道市	(一社)尾道観光協会	広島県尾道市東御所町1-20	観光
尾道市	NPO法人せとだ港房	広島県尾道市瀬戸田町瀬戸田214-14	まちづくり
尾道市	神原造船(株)	尾道市向東町14745番地3	造船
福山市	ベネフィットホテル(株)	広島県福山市鞆町後地字田ノ浦3373-2	ホテル
福山市	(有)あぶと観光汽船	広島県福山市沼隈町能登原阿伏兎1416-7	旅館, 観光船

福山市	ツネイシLR(株) ペラビスタスパ&マリーナ尾道	広島県尾道市浦崎町大平木1344-2	ホテル, マリーナ
福山市	NPO法人鞆の浦振興事業団	広島県福山市鞆町鞆416	お土産, 観光案内
福山市	(株)阿藻珍味	広島県福山市鞆町後地1567-1	お土産, 食料品
福山市	(株)ウオヒサ	広島県福山市鞆町後地26-234	お土産, 食料品
福山市	(公社)福山観光コンベンション協会	広島県福山市西町2-10-1	観光事業振興
大竹市	大竹観光協会	広島県大竹市油見3-18-11 大竹商工会議所内	観光
宇部市	宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会	山口県宇部市常盤町一丁目6番44号	観光
防府市	(有)野島海運	山口県防府市大字野島679-18	海運業
光市	浅江やろう会	山口県光市虹ヶ丘4-21-12	イベント運営
光市	光市観光協会	山口県光市大字室積村6288番地	観光
周南市	大津島巡航(株)	山口県周南市築港町9番1号	海運業、フェリー・客船(国内定期航路)
周南市	徳山港振興会	山口県周南市築港町2-18	港湾振興
周南市	徳山商工会議所	山口県周南市栄町2-15	
周南市	(公財)周南地域地場産業振興センター	山口県周南市鼓海2丁目118番地の24	
周南市	NPO法人ライトアップ周南	山口県周南市二番町3-34-1	
周南市	(株)ホテルサンルート徳山	山口県周南市築港町8-33	ホテル、会食、プライダル
周南市	株式会社JTB徳山営業所	山口県周南市銀座1-12 徳山セメディアビル2階	旅行業
周南市	シーホース	山口県周南市栗屋奈切118-13	飲食業、マリーナ
周南市	(株)藤吉	山口県周南市栄町2-6	飲食業
周南市	山口県釣り団体協議会	山口県周南市城ヶ丘3-4-23	
周南市	(一社)山口県周南清港会	山口県周南市築港町13-38	
周南市	(一財)周南観光コンベンション協会	山口県周南市みなみ銀座1-8	観光

周南市	瀬戸内の海を美しくする会	山口県周南市三笹町16-19	ボランティア団体
下関市	下関港湾協会	山口県下関市東大和町一丁目10番50号	港湾協会
中津市	(一社) 中津耶馬溪観光協会	大分県中津市大字島田219-2	観光
中津市	大分県漁業協同組合中津支店	大分県中津市字小祝寺山525番地10	漁業協同組合
佐伯市	(株)ケーブルテレビ佐伯	大分県佐伯市池船町20-3	マス・メディア
佐伯市	(一社) 佐伯市観光協会	大分県佐伯市城下東町8-19	観光

議事 6. 令和3年度総会開催地等 (案)

令和2年度総会開催地等について、以下のとおり総会に諮る。

なお、令和3年度のリフレッシュ瀬戸内全体拠点地及び担当者会開催地について、積極的な立候補をお願いしたい。

令和3年度	総会開催地	大分県佐伯市
〃	リフレッシュ瀬戸内全体拠点地	募集中
〃	担当者会開催地	募集中
令和2年度	総会開催地	中止(※)
〃	リフレッシュ瀬戸内全体拠点地	中止(※)
〃	担当者会開催地	広島県広島市

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から総会を中止し、決議を書面決議とする。また、リフレッシュ瀬戸内も同理由により中止とする。

なお、令和3年度の総会開催地は令和2年度開催予定地であった大分県佐伯市とする。

(参 考) これまでの総会開催地 (次頁のとおり)

(参考：海ネット総会開催地推移)

平成3年度	兵庫県	姫路市	(兵庫県ブロック)
平成4年度	香川県	坂出市	(香川県ブロック)
平成5年度	広島県	呉市	(広島県ブロック)
平成6年度	岡山県	玉野市	(岡山県ブロック)
平成7年度	和歌山県	和歌山市	(和歌山ブロック)
平成8年度	大阪府	堺市	(大阪府ブロック)
平成9年度	山口県	下関市	(周防灘ブロック)
平成10年度	徳島県	徳島市	(徳島県ブロック)
平成11年度	愛媛県	今治市	(愛媛県ブロック)
平成12年度	大分県	中津市	(周防灘ブロック)
平成13年度	福岡県	北九州市	(周防灘ブロック)
平成14年度	広島県	三原市	(広島県ブロック)
平成15年度	愛媛県	松山市	(愛媛県ブロック)
平成16年度	香川県	高松市	(香川県ブロック)
平成17年度	兵庫県	神戸市	(兵庫県ブロック)
平成18年度	岡山県	玉野市	(岡山県ブロック)
平成19年度	山口県	下関市	(周防灘ブロック)
平成20年度	愛媛県	八幡浜市	(愛媛県ブロック)
平成21年度	和歌山県	湯浅町	(和歌山ブロック)
平成22年度	愛媛県	四国中央市	(愛媛県ブロック)
平成23年度	広島県	大竹市	(広島県ブロック) ※1
平成24年度	大分県	別府市	(周防灘ブロック)
平成25年度	兵庫県	姫路市	(兵庫県ブロック)
平成26年度	愛媛県	松山市	(愛媛県ブロック)
平成27年度	広島県	福山市	(広島県ブロック)
平成28年度	大分県	中津市	(周防灘ブロック)
平成29年度	和歌山県	和歌山市	(和歌山ブロック)
平成30年度	愛媛県	宇和島市	(愛媛県ブロック)
令和元年度	山口県	宇部市	(山口県ブロック)
令和2年度	(書面決議)		※2

※1：平成23年度については、東日本大震災の発生により総会は書面審議とし、海ネット設立20周年記念行事を大竹市で開催した。

※2：令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から総会を中止し、決議を書面決議とする。